

平成27年度

宮城の家庭教育に関する保護者の意識調査
報 告 書

宮城県PTA連合会 健全育成委員会

ご挨拶

宮城県PTA連合会

会長 高城 裕行

家庭教育というと、皆さんはどのようなことを思い浮かべるでしょうか？「早寝早起きなどの基本的な生活習慣や生活能力，人に対する信頼感，豊かな情操，他人に対する思いやり，基本的倫理観，自尊心や自立心，社会的なマナーなどを身に付けさせること」が一般的な定義であり，言葉としては皆さん理解していることだと思います。

それは，特別な教育を受けることはありません。日常において意識することなく行っているものが大半であり，言い換えれば家庭での普段の生活そのものが家庭教育を実践していることとなります。各家庭それぞれのやり方があり，私たちの親から私たちへ，つまりは親から親へ連綿と引き継がれてきているもので，価値観や生活様式の違いによって千差万別であり，子供にとっての「当たり前」になりうるものです。その中で，子供にとって今何が一番必要なことかを創意工夫して伝えているのが現状だと思われます。

しかしながら，環境や価値観の変容，情報の氾濫により私たち自身が「これでいいのか？」と思い悩むことも多々あります。「親は子供を育てられて当たりまえ」とか「子供のためにしなければ」と大上段に構えることなく，子供と一緒に親自身が成長していければという位の気持ちであれば，自ずと自分が思う方向に進んでいくのではないのでしょうか。私たち自身がアンテナを広げて，様々な情報を得ることや経験をすること。心配事があれば，家庭や地域，信頼できる仲間と相談して，自分一人で抱え込まないこと。何かあっても一息おいて子供に接してあげること。そして子供を認め，褒めてあげることが重要です。

子供にとって家庭で一番大事なことは毎日を安らかに生活できることだと思います。親に愛されている実感を持ちながら，自分のありのままを受け入れてもらう安心感を持つことです。ありのままを受け入れてと言っても，甘やかして育てるということではなくその中で人間としての善悪や基本的な生活習慣を身に付けさせてあげることが私たち親のできることであり，そのことが家庭教育の本質だと思います。

平成28年2月29日

目 次

I	調査の概要	P. 2
II	調査結果	
Q 1	お子さんに対してあなたの続柄を教えてください	P. 3
Q 2	あなたの年齢を教えてください	P. 3
Q 3	お子さんの数を教えてください	P. 3
Q 4-1	現在の子供を取り巻く環境についてどのように感じますか	P. 4
Q 4-2	(良い) なぜそのように感じますか	P. 4
Q 4-3	(良くない) なぜそのように感じますか	P. 5
Q 5	あなた自身の子育てについて	P. 6
Q 6	特に力を入れていること	P. 7
Q 7	今後力を入れたいと思うこと	P. 7
Q 8-1	家庭での教育(しつけ等)についての悩みや不安	P. 8
Q 8-2	(ある) どのような悩みや不安ですか	P. 8
Q 8-3	どのように解決していますか	P. 9
Q 9-1	「家庭の教育力(しつけ等)が低下している」という意見について	P. 10
Q 9-2	(そう思う) 理由は何だと思えますか	P. 10
Q 10	子供と一緒に過ごす時間について	P. 11
Q 11	平日、子供と一緒にしていることは何ですか	P. 11
Q 12	今後、どのように過ごしたいですか	P. 11
Q 13	家庭教育, 子育てについて日頃感じていること	P. 12
III	まとめ・提言	P. 16
IV	資料・参考	P. 17~P. 21
	1 調査票	
	2 学びの窓口・相談窓口のご紹介	
V	あとがき	P. 23

I 調査の概要

1 目的・趣旨

昨今、子供のインターネット利用に関する問題が顕著となっています。宮城県 PTA 連合会においても平成 26 年度は「子供のインターネット利用に関する保護者の意識調査」を実施し、また本会に関連する各種研修会においてもほとんどがこの件に関するものとなっています。いずれもその帰結として言われているのは、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせることにあり、つまりは、教育基本法第 10 条に規定された親が果たすべき「第一義的責任」にかかるものと理解することができます。

本アンケートは家庭を取り巻く環境の変化に伴い、家庭の教育力低下が指摘されている現状や、前述のインターネットメディア対策、父親の子育て参加、いじめ、といった現代的課題も踏まえ、宮城の家庭教育の状況を保護者の意識や実態から把握し、子供たちの健全育成の一助となることを目的として実施しました。

2 対象

平成 27 年度宮城県 PTA 連合会所属の 397 単位 PTA の中から抽出した 10 校のうち、小学校 5 年生 (6 校) の保護者と中学校 2 年生 (4 校) の保護者を対象に調査

調査対象	配布数	回収数	有効回答数	回答率
調査校 A	26	23	23	88.5%
調査校 B	64	47	47	73.4%
調査校 C	123	70	70	56.9%
調査校 D	146	125	125	85.6%
調査校 E	40	28	28	70.0%
調査校 F	12	11	11	91.7%
調査校 G	30	29	29	96.7%
調査校 H	72	62	62	86.1%
調査校 I	176	85	85	48.3%
調査校 J	124	95	95	76.6%
合計	813 枚	575 枚	575 枚	70.7%

3 内容

属性 (子供との続柄) 子供を取り巻く環境と子育ての実態 悩み など

4 方法

質問紙法 (アンケート記述式)

5 期間

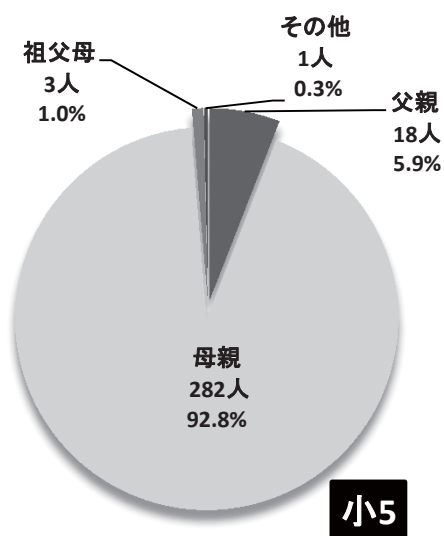
平成 27 年 9 月 5 日 ~ 平成 27 年 9 月 25 日 調査協力校に配布・実施

6 調査の参考にした先行調査・資料

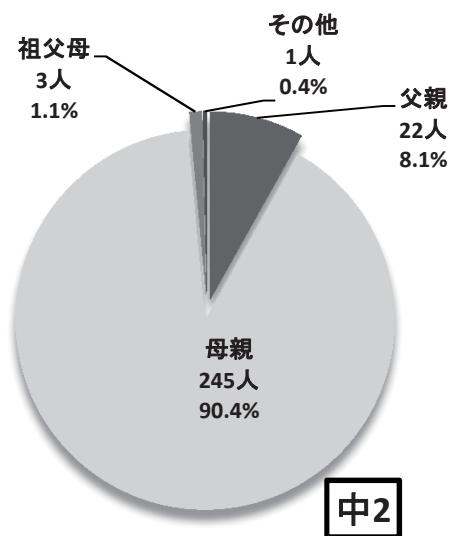
平成 24 年度秋田県教育委員会実施アンケート「グラフでみる秋田の家庭教育」

Ⅱ 調査結果

問1 お子さんに対してあなたの続柄を教えてください。

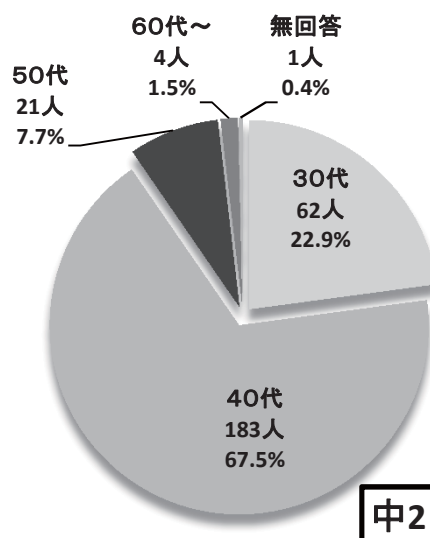
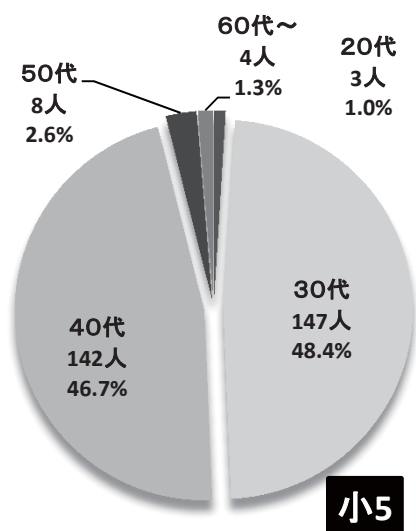


※その他1名…里親母

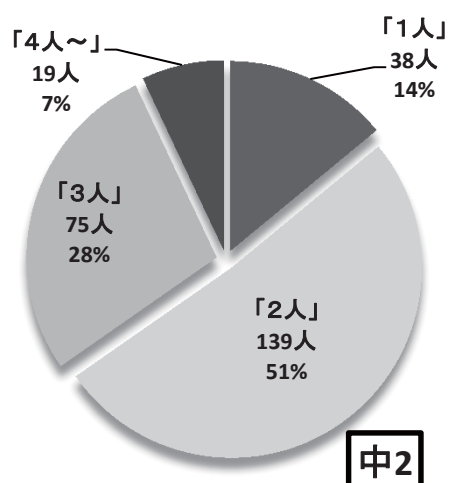
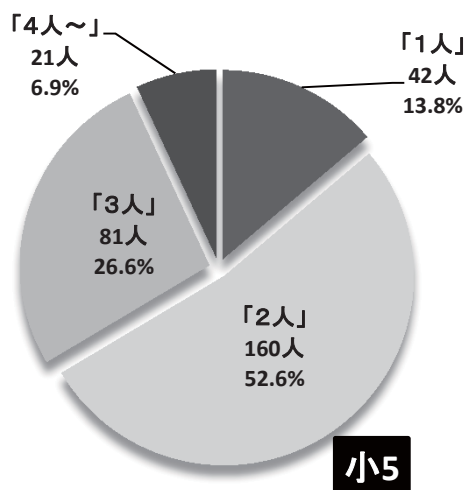


※その他…叔母

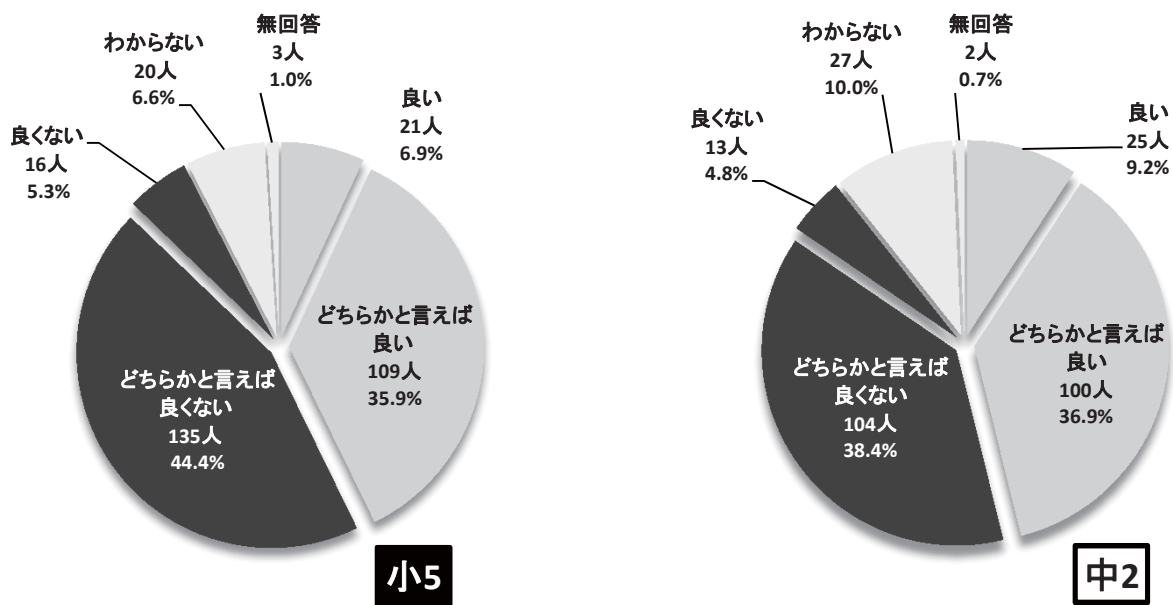
問2 あなたの年齢を教えてください。



問3 お子さんの数を教えてください。



問4-1 あなたは、現在の子供を取り巻く環境について、総合的に見てどのように感じますか？



問4-2 問4-1において選択肢「1.良い」及び「2.どちらかと言えば良い」とお答えの方のみお答えください。なぜそのように感じますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

※回答数の多い順

	■ 小5 N=130		■ 中2 N=125		小5	中2	合計
学びや体験の機会・場がたくさんある	81		69		62.3%	55.2%	58.8%
子供を取り巻く人々との関わりがある	67		67		51.5%	53.6%	52.5%
学校が子供に気を配り、教育してくれている	40	38			30.8%	30.4%	30.6%
経済的に豊かで生活が便利	26	20			20.0%	16.0%	18.0%
ネットの普及等で情報が進み、視野・知識を拓けるのが容易	15	29			11.5%	23.2%	17.3%
子育て施設の充実等、環境整備が進み子育てしやすくなっている	22	13			16.9%	10.4%	13.7%
父親の子育て参加など、社会的な意識が高まっている	12	22			9.2%	17.6%	13.3%
その他	1	3			0.8%	2.4%	1.6%
無回答	6	1			4.6%	0.8%	2.7%

0 100 200 人

※「その他」具体的記述

小5 ⇒ ・ 親が近くに住んでいる。

中2 ⇒ ・ 気を使いすぎ、特に親に！！
・ 友人関係が良い。

問4-3 選択肢「3.どちらかと言えば良くない」及び「良くない」とお答えの方は、なぜそのように感じますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

※回答数の多い順	■ 小5 N=151 ■ 中2 N=117		小5	中2	全体
	小5	中2			
物騒になり、子供の安全が脅かされている	119	94	78.8%	80.3%	79.5%
インターネットによる有害情報やネット犯罪の危機にさらされている	97	91	64.2%	77.8%	70.1%
遊び場が制限され、遊びの環境が豊かでない	93	52	61.6%	44.4%	54.1%
情報やモノが氾濫し、親や学校の価値観が伝わりにくい	72	62	47.7%	53.0%	50.0%
経済情勢や少子高齢化など、将来への明るい希望が持てない	56	39	37.1%	33.3%	35.4%
親が子供に接する時間が十分取れない	41	34	27.2%	29.1%	28.0%
成長の過程で多様な経験を積むことが難しい	35	30	23.2%	25.6%	24.3%
少子化の影響で、兄弟や友達が少ない	17	20	11.3%	17.1%	13.8%
小さいうちから受験勉強に追われる	13	14	8.6%	12.0%	10.1%
近所・地域住民が子供に無関心	13	13	8.6%	11.1%	9.7%
その他	10	5	6.6%	4.3%	5.6%
無回答	1	1	0.7%	0.9%	0.7%

※「その他」具体的記述

小5 ⇒

- ・ いじめ問題。
- ・ 学校での学習状況総合的にゆとりがないように感じる。
- ・ 同居で祖父母と両親の間に挟まれている。
- ・ 制限されることで（子供だけで出掛けてはいけないとか）子供たちの経験不足になり自分で考えて行動する力が低い。
- ・ 近所に道路族や非常識な家族がおり困っている。
- ・ ネット、ゲーム等ブレーキのかかりにくい遊び等が多い。
- ・ 過保護な大人が多いため、子供が自分で生き抜く力をつけられない。
- ・ 学校で学ぶ事が少ない。例えば、病欠して習わなかった所もそのまま。水泳も昔みたいに泳ぎ方を十分に教えてもらえず、スイミングスクールに通えない子は泳げないまま。義務教育というけれど、塾に行かないとダメな状況。

中2 ⇒

- ・ ゲームやスマホで一人遊びが多くなり、集団の中に入った時、コミュニケーションの取り方がわからない。
- ・ メディアと接する時間が多く（特にゲーム）生身の人間とのコミュニケーション不足。
- ・ 部活などで特定の生徒だけを指導する先生がいること。
- ・ カードゲーム（お店により高額なものがある）携帯、インターネット。

問4 傾向・考察

- ・ 4-1では小中ともに「良い（どちらかと言えば良い）」と「良くない（どちらかと言えば良くない）」の割合はほぼ半々。
- ・ 4-2では「学びや体験の機会・場がたくさんある」「子供を取り巻く人たちとの関わりがある」が半数以上を占めた。
- ・ 4-3では「物騒になり、子供の安全が脅かされている」「インターネットによる有害情報やネット犯罪の危機にさらされている」が70%以上となっている。
- ・ 「インターネット～」に関しては、4-2で「ネットの普及等で情報化が進み、視野・知識を拡げるのが容易」を選択している保護者も相当数おり、一つの事象をプラス、マイナスどちらの意識を持つかによって環境の良し悪しを判断していることがうかがえる。

問5 あなた自身の子育てについて、次のように思うことはありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

※回答数の多い順

■ 小5 N=304 ■ 中2 N=271

	小5	中2	全体
悩みながらも何とかやっている	245 (80.6%)	202 (74.5%)	77.7%
楽しく子育てしている	109 (35.9%)	84 (31.0%)	33.6%
どうしたらよいか分からないことがたくさんある	59 (19.4%)	72 (26.6%)	22.8%
生きがいをもって子育てができている	48 (15.8%)	58 (21.4%)	18.4%
我慢しなければならぬことがたくさんある	51 (16.8%)	54 (19.9%)	18.3%
甘やかし過ぎている	33 (10.9%)	47 (17.3%)	13.9%
厳しくし過ぎている	31 (10.2%)	12 (4.4%)	7.5%
子育てはもう二度としたくない	12 (3.9%)	6 (2.2%)	3.1%
無回答	3 (1.0%)	14 (5.2%)	3.0%

0 100 200 300 400 人

問5 傾向・考察

- ・ 全体的に子育てに関しては、分からない事や何かしら悩みを抱えながらも楽しく子育てを行っている事がうかがえる。

問6 あなた自身の子育てについて特に力を入れていることは何ですか。

問7 また、今後力を入れたいと思うことは何ですか。

※選択肢同一 3つまで選択

	小5 N=304		問6	中2 N=271		問6	全体	
	問6	問7	問6	問7	問6	問7		
悪いことをしたときは厳しく叱る	173	22	56.9%	7.2%	128	41	47.2%	52.3%
良いことをしたときはしっかりとほめる	109	82	35.9%	27.0%	105	53	38.7%	37.2%
ルールや決まりの大切さを教え、守らせる	162	61	53.3%	20.1%	133	56	49.1%	51.3%
「早寝早起き朝ごはん」など基本的な生活習慣を身に付けさせる	87	46	28.6%	15.1%	73	45	26.9%	27.8%
子供の手本となる生き方や考え方を示す	15	71	4.9%	23.4%	28	48	10.3%	7.5%
なんでも家族でよく話し合う	58	71	19.1%	23.4%	63	75	23.2%	21.0%
将来の夢をかなえられるよう応援し励ます	34	127	11.2%	41.8%	47	107	17.3%	14.1%
年中行事や誕生日など、家族の行事を大切にする	56	18	18.4%	5.9%	55	16	20.3%	19.3%
家庭学習をしっかりとさせる	31	93	10.2%	30.6%	18	76	6.6%	8.5%
家事や仕事などの手伝いをさせる	48	86	15.8%	28.3%	44	82	16.2%	16.0%
一緒に遊ぶ・出かける等、家族とのコミュニケーション	61	55	20.1%	18.1%	57	45	21.0%	20.5%
積極的に地域の行事に参加させる等、家庭以外でのコミュニケーション	10	56	3.3%	18.4%	9	32	3.3%	3.3%
その他	6	4	2.0%	1.3%	3	4	1.1%	1.6%
							1.5%	1.4%
特にない	0	2	0.0%	0.7%	1	3	0.4%	0.2%
							1.1%	0.9%
無回答	12	20	3.9%	6.6%	12	26	4.4%	4.2%
							9.6%	8.0%

問6に多く、問7に少ない選択肢
「悪いことをしたときは厳しく叱る」
「ルールや決まりの大切さを教え、守らせる」

問7に多く、問6に少ない選択肢
「将来の夢をかなえられるよう応援し励ます」
「家庭学習をしっかりとさせる」

※「その他」具体的記述

問6

- 小5 ⇒
- 食生活
 - 親は友達ではないので礼儀など区別させる。
 - 子供の話をよく聞く (×2)
 - 一人でも生きていける力をつけ、自立させること

- 中2 ⇒
- 自立できるように手助けすること

問7

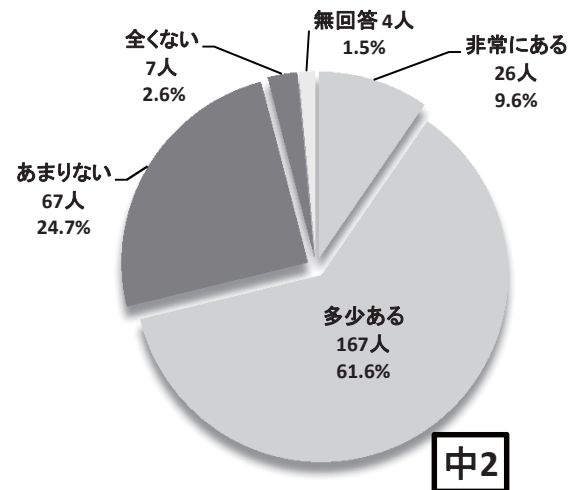
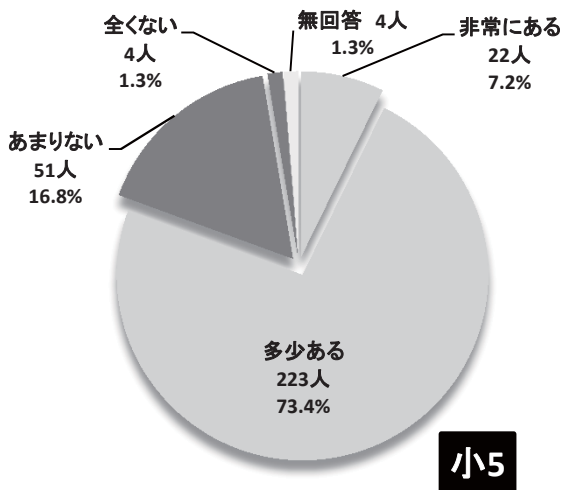
- 小5 ⇒
- スポ少活動や部活動のサポート。(×2)
 - 子供の話をよく聞く。
 - ガミガミ怒らないで、見守る。

- 中2 ⇒
- 危険予知能力を育て、自分の身を守る術を身に付けさせたい。
 - なるべく早くやりたいことを見つけ、将来を考えられるように声かけや情報、知識を提供。
 - 社会に出てからの厳しさ。

問6、問7 傾向・考察

- 問6については善悪の判断など常識やルールについてを、問7では将来へ向けての成長を、それぞれ重要視していることがうかがえる。
- 「悪いことをしたときは厳しく叱る」と「良いことをしたときはしっかりとほめる」の割合は、問6と問7では小中ともに逆転しており「ほめ下手」な保護者が多いことがうかがえる。

問8-1 あなたは家庭での教育（しつけ等）について悩みや不安がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



問8-2 問8-1において選択肢「1. 非常にある」「2. 多少ある」を選択した方のみお答えください。それはどのような悩みや不安ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

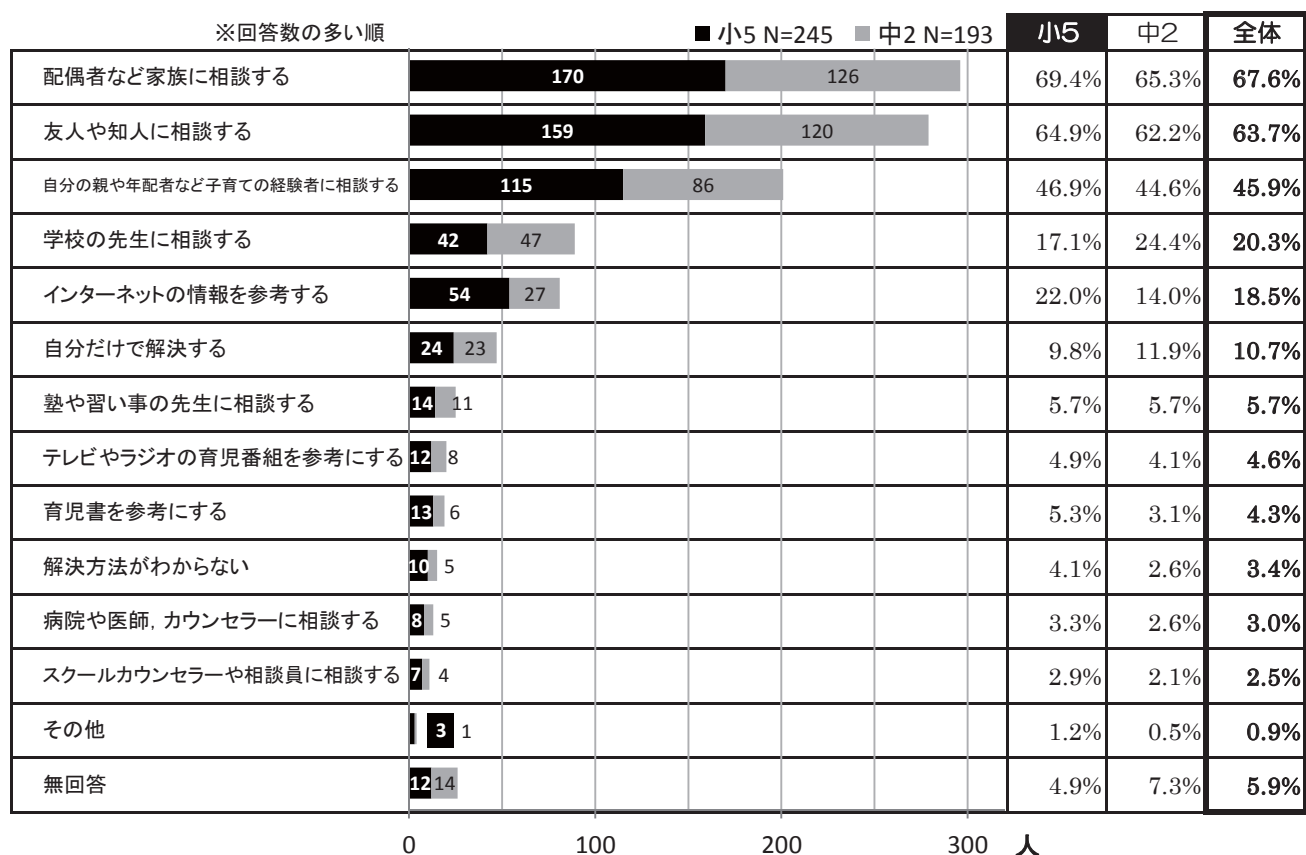
※回答数の多い順	■ 小5 N=245 ■ 中2 N=193		小5	中2	全体
	勉強や進学、将来の進路に関する事	131	132	53.5%	68.4%
テレビ・ゲーム・ネット等、メディアとの付き合い方に関する事	134	119	54.7%	61.7%	57.8%
子供の性格や考え方、人との接し方に関する事	115	86	46.9%	44.6%	45.9%
子供の友人関係に関する事	77	50	31.4%	25.9%	29.0%
非行や反抗期に関する事	63	54	25.7%	28.0%	26.7%
しつけや教育方針に関する事	67	44	27.3%	22.8%	25.3%
子供の健康・体力に関する事	53	33	21.6%	17.1%	19.6%
早寝早起きなどの生活習慣に関する事	46	40	18.8%	20.7%	19.6%
配偶者や家族の協力に関する事	29	17	11.8%	8.8%	10.5%
子供とのふれあいや親子の信頼関係に関する事	31	15	12.7%	7.8%	10.5%
学校や先生との関係に関する事	15	27	6.1%	14.0%	9.6%
いじめ、引きこもり、不登校に関する事	27	15	11.0%	7.8%	9.6%
教育についての情報や相談に関する事	13	20	5.3%	10.4%	7.5%
ただなんとなく不安	11	13	4.5%	6.7%	5.5%
その他	1	2	0.4%	1.0%	0.7%
無回答	1	0	0.4%	0.0%	0.2%

※「その他」具体的記述

小5 (記載なし)

中2 ⇒ ・部活や習い事。

問8-3 悩みや不安をどのように解決していますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。



※「その他」具体的記述(「中2」は記載なし)

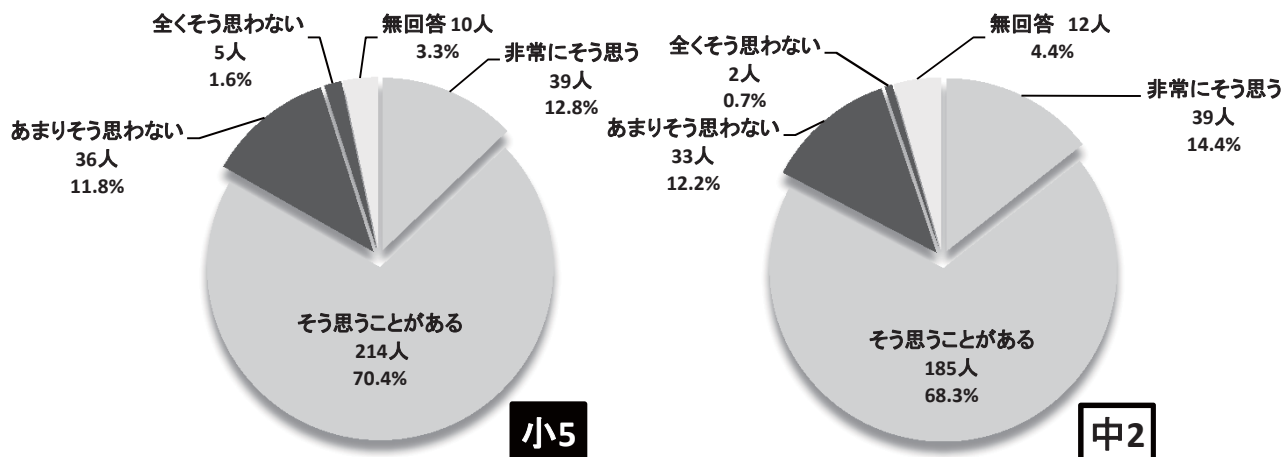
小5 ⇒

- ・ 子供と話し合う。
- ・ 悩みや不安は日々その時々で悩んだりしては落ち着いて、そしてまた悩みや不安になっての繰り返し。

問8 傾向・考察

- ・ 8-1では「非常にある」「多少ある」を合わせると小5では約8割、中2では約7割。
- ・ 8-2では「勉強・進学・将来」と「テレビ・ゲーム・ネット」の割合がほぼ同じであり、この二つの相関性がうかがわれる。
- ・ 8-3では「配偶者など家族」「友人や知人」「自分の親や年配者」の割合が高く、多くが身近に相談できる相手がいることがうかがわれる。

問9-1 「家庭の教育力（しつけ等）が低下しているのではないか」との意見を、あなたはどのように思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



問9-2 問9-1において選択肢「1. 非常にそう思う」「2. そう思うことがある」とお答えの方のみお答えください。家庭の教育力低下の理由は何だとお考えですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

理由	小5 N=253	中2 N=224	小5 (%)	中2 (%)	全体 (%)
テレビ、ゲーム、インターネットなどの影響	163	144	64.4%	64.3%	64.4%
過保護、甘やかせ過ぎや過干渉な親の増加	140	132	55.3%	58.9%	57.0%
共働きなど親の仕事の多忙化	105	90	41.5%	40.2%	40.9%
しつけや教育に無関心な親の増加	113	74	44.7%	33.0%	39.2%
学校等教育機関にしつけ等を過度に依存する親の増加	75	70	29.6%	31.3%	30.4%
子供が親以外の大人と触れ合う機会の不足	72	52	28.5%	23.2%	26.0%
親子がふれあい、一緒に行動する機会の不足	66	47	26.1%	21.0%	23.7%
しつけや教育に自信がない、やり方がわからない親の増加	57	48	22.5%	21.4%	22.0%
しつけや教育に悩んだ時相談する相手や場の不足	37	28	14.6%	12.5%	13.6%
父親の存在感の低下	26	37	10.3%	16.5%	13.2%
親に対する信頼感の低下	28	30	11.1%	13.4%	12.2%
働く親の姿を知る機会の不足	17	26	6.7%	11.6%	9.0%
なんとなく	6	3	2.4%	1.3%	1.9%
その他	7	5	2.8%	2.2%	2.5%
無回答	1	1	0.4%	0.4%	0.4%

※「その他」具体的記述

小5

- ⇒ 親の意識の低さ、人のせいにする事。 ・ 怒らない親が多い。
- ・ 自分が学んだ時代と解き方がちがうため家で教えづらいので先生に聞いてと言ってしまう。
- ・ 親である大人が基本的マナーを分かっておらず、非常識な家族が多い。はっきりいってかわりたくない。
- ・ 親自身がしつけや教育をされてきてないから出来ないのでは？
- ・ 親、教育機関共に過保護ではないか？

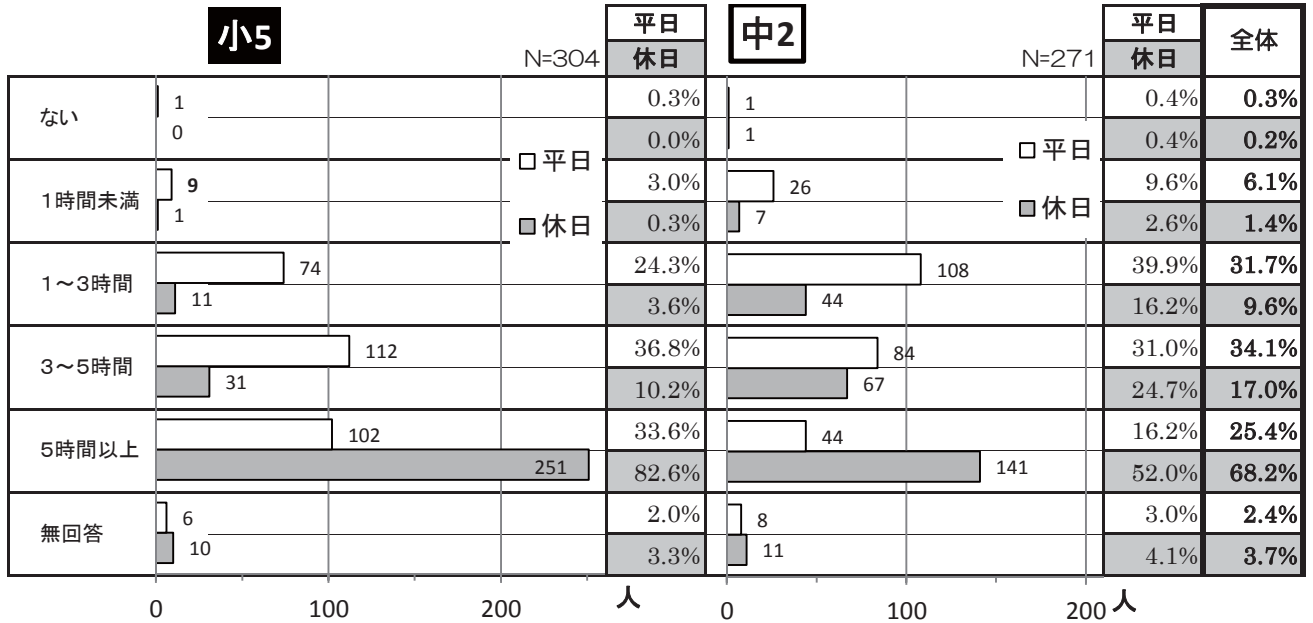
中2

- ⇒ 他人の子供を怒る事ができない。 ・ 子供の事を分かってほしい。
- ・ 親自身が大人になり切れてない。自己中心的。 ・ 周りの子供達の言動。

問9 傾向・考察

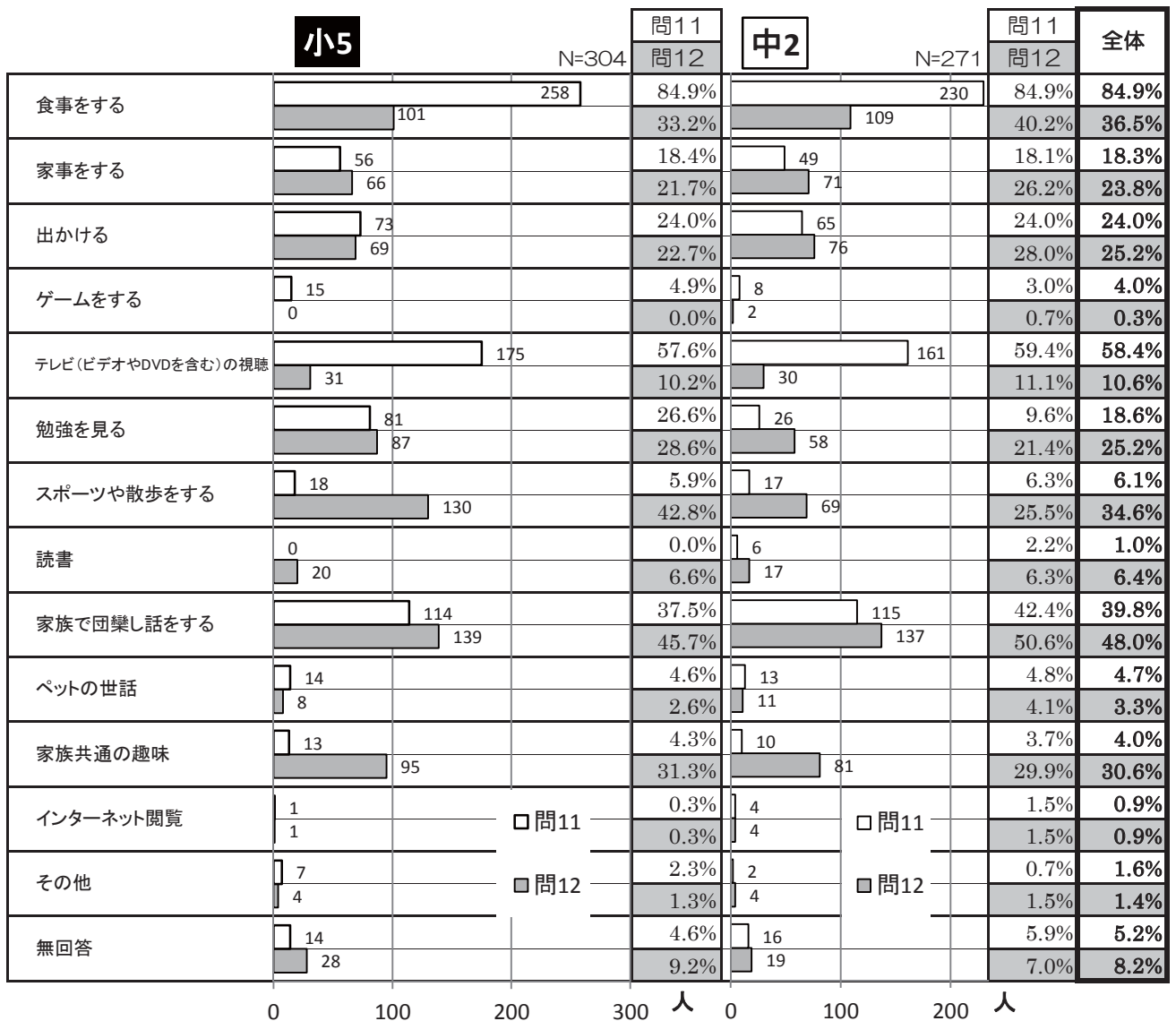
- ・ 9-1では小中ともに80%超が「家庭の教育力（しつけ）」が低下していると回答している。
- ・ 9-2では「テレビ、ゲーム、インターネットなどの影響」が最も多い。
- ・ 「過保護、甘やかせ過ぎや過干渉な親の増加」が多い一方、「しつけや教育に無関心な親の増加」も多数あり、子供への関わりが両極化していることがうかがえる。

問10 子供と一緒に過ごす時間は平均するとどれくらいですか。平日、休日ごとに○をつけてください。



問11 平日、1日の中で子供と一緒に過ごす時間にしていることは何ですか。

問12 また、今後どのように過ごしたいと考えていますか。 ※選択肢同一 それぞれ3つまで選択



問11に多く, 問12に少ない選択肢
 「食事をする」
 「テレビ(ビデオやDVDを含む)の視聴」

問12に多く, 問11に少ない選択肢
 「スポーツや散歩をする」
 「家族共通の趣味」

※「その他」具体的記述

小5

中2

問11	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供と公園に行ったり出掛ける ・ おふろ ・ その日の出来事の話 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学の送迎 ・ 勉強と仕事をそれぞれです
問12	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験 ・ お菓子づくり ・ 一緒に遊ぶ ・ 特にない ・ 平日, 休日ともに今以上に密に接していければ(現状満足なのかも) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供1人1人の話をきちんと聞いていきたい ・ 父親を手伝って作業する(洗車の手伝い, 等々) ・ 勉強と仕事をそれぞれです ・ それぞれのやりたいことをしながら, わからないことや疑問をその都度話し合ったり考え方を考えてみたりし続けていきたい

問10, 問11, 問12 傾向・考察

- ・ 問10の結果から, 多くの保護者が子供と過ごす時間をより多く取ろうとしている姿勢が見受けられる。
- ・ 問11では, 「食事」や「テレビ視聴」など家庭の中で過ごすことが多い一方, 問12では「スポーツ」や「家族共通の趣味」などを通して, より子供と深く接しようとする気持ちがうかがわれる。
- ・ 「家族で団欒し話をする」は両方の問いに共通して多く, 家族のコミュニケーションを大事にしている保護者が多いことがわかる。また小5では「勉強を見る」が共通して多い。

問13 その他, 家庭教育, 子育てについて日頃感じていることがありましたら自由にお書きください。

小5

41件

- ・ 自分の子, 人の子を見てあいさつ, しつけ, 食生活, 言葉遣いは大切だとつくづく思います。子供のうちに大人が, 特に親が, いいことと悪いことをきちんと教えてあげれば, 子供は大体のことは理解してくれます。基本的なこと, あいさつなどは特に, 忙しいからといってやらないのは良くないと思います。自分自身も気をつけ, 子供たちが基本的なこと(あいさつ, 言葉遣い)などをきちんとやれるよう育てていきたいと感じています。
- ・ 核家族で共働きなので子供との時間がとれないのは仕方がないと思う(経済的な問題もあるので)。
- ・ PTA活動不要だと思います(親の負担が大きい)。
- ・ 「友達は夜遅くまで起きている」「スマホみんな持っている!」等, 簡単に物をあずけたりしてメディアに子守りをさせている親が多く困っている。
- ・ 家庭で親自身がきちんとしたしつけを受けないまま大人になっているので, 学校や社会に対する問題がより大きくなっている。まずは大人をきちんとした親にならせてほしいと思う。
- ・ 遊び場について近くに大きな公園がない。
- ・ しつけにおいて何が正しくて何がよくないのか, とか自分の教育, 子育てにおいて子供が社会に出た時に恥じてないかとか, 子供に対して申し訳ないと思うことがある。自分の子供への教育, しつけがきちんと子供の為になっているのかと思う日々です。しっかりとさせなくてはと思うと厳しくなってしまうたりと, 模索しながら日々過ぎていると思う。
- ・ 仕事が忙しくなかなか子供と関わる時間がないのが現状です。忙しさに気をとられているうちに子供がどんどん大きくなってしまっているのがもどかしいです。
- ・ 子供のやりたいを大切にしようと思っています。

- ・私の親はとても厳しかったこともあり、世の中のルールや最低限の社会でのマナーなど、私自身おかげで困ることはなかったように思います。まわりのまだ小さいお子さんがいる家庭を見るとほとんど親は子供が泣いたら泣かせっぱなし、外で大声でギャーギャー騒いでも注意するでもなく、暗くなってもそのままの家庭が多いです。親がダメだと子供はもちろんダメになると思います。今の子供達は親以外から社会の常識を学ぶことになるので、先生がたも大変でしょうが、心から頑張ってもらいたいと思います。
- ・自分の意志より他人からの目線を考え、子供に過度に叱りすぎていると思う。
- ・子供に多くの経験をさせたいと思います。制限することで子供が社会勉強をする妨げになっていることがあると思います。
- ・友達とのこと、勉強のこと、インターネットのことと毎日考えていますが、子供が自分自身で気づいて考えて行動できるようにサポートしたいです。
- ・子供がケイタイやスマホ、PC等ネットワーク上で色々な情報が得られる時代なので、子供が使用するものの使い方や機能を理解したうえで使用させることが望ましいと思います。親が使い方がわからないのではスマホなどのフィルタリングかけられないと思います。我が家では、年齢時間アプリにフィルタリングをすべてかけて使用させています。22時過ぎてもSNS使えるのは良くないです。たまには、子供のスマホにも来ます。フィルタリング100%と言ってもどれぐらいの方が理解できていますかね？
- ・子供が小さいときは、情報があふれすぎて不安や悩みがたくさんありました。でも、小学校に入学してから年々気が楽になり、今では子供がいない生活は考えられません。子供の未来が幸せであるように大切に见守っていきたいと思っています。
- ・子供が本当にやりたいことを見つけられるよう、親として協力したいと思う。これからの進学について子供がいろいろな選択がありすぎて迷わないか心配。
- ・質問の中にもありましたが、しつけや教育に関する相談できる期間を増やしてほしい。以前、スクールカウンセラーを利用しましたが、こちらばかり話して、アドバイスのものが聞けませんでした。
- ・子供と接する時間、会話をする時間、コミュニケーションを大切にしていきたいと思います。
- ・放課後、子供たちが安心して思いっきり遊べる場所が少なすぎると感じています。今は、期間を区切って校庭開放？(ボランティアなどの方が子供達と一緒に遊んでくれる)をしています。できれば、週に1回でもいいので、通年して行ってくれるといいと思います。
- ・家族の決まり事が一緒に過ごす友達と違う場合、迷うことがある。帰宅時間やどこまで遊びに行ってもよいか、いくらまで持たせるか等。
- ・各家庭の教育方針なので、問題にすべき事ではないけれど、学習塾を含め、毎日習い事に通う子供たちが多くなっている。勉強の前にもう少し「心」の部分を大切にしたい時期かなと思います。
- ・ゆとり教育と言われていますが、他の学校と比べて少し時間数が足りないとお母さんと話していました。勉強が楽しいと感じさせる環境づくりを学校でも作っていただけたらいいなと思います。
- ・ゲーム、パソコン以外の熱中できる事を見つけてほしい。いろいろ声掛けはするが、なかなか体験するところまで至らないのがもどかしい感じです。
- ・毎日毎日時間に追われている感じがするので、自分で時間を使えるようになってほしいです。
- ・お金がかかりすぎる。時間が少なすぎる。
- ・子供と話し合い約束事を決めても、守っていないように思う。共働き等で帰りが遅い場合は特に…。親の目が届くときは良いが子供は勝手に学習するので気をつけていった方が良いと思います。
- ・インターネットなどの環境が日常にあふれすぎて、昔と違うため(自分(親が)が子供の頃と)かえって子育てしにくい環境になっているのでは？ご近所づきあいもあまりなくなったりなど…。
- ・私たち親世代の勉強の教わり方が、今の子供たちと違い、親が勉強を見てあげるのが難しくなりました。
- ・特に平日は、食事や準備等せかしたりすることが多いと感じる。もっと豊かな会話を心がけたいと思う。
- ・家庭ではそれでいいと思っても、学校などの集団の中ではうまくいかないこともあり、家庭には家庭の、集団には集団のルールがあるのを理解し、それに沿った行動をした方が生きやすいということを身につけなければ、親子共々孤立してしまうような気がします。

- ・ 子供が巻き込まれる事件が多く感じられる世の中、何をさせるにも常に心配や不安が大きい。遊びに行くところは必ず伝えさせているが、そこから移動する時もあるはず。地域の方の見守る目がたくさんあるといいなあと思います。
- ・ このアンケートを基に対策があるのでしょうか。選択肢が偏見で示されており、答えづらい内容であった。様々な家庭があるので配慮した内容であれば答えることができた。有効回答が多数得られるアンケートか疑問しかない。
- ・ 国(行政)、政治が弱者を切り捨て、社会不安、子供の環境悪化につながっている。マスコミ(TV)も酷い。
- ・ 他県から引っ越してきましたが、長期の休みが多い割に、宿題が少なく、授業日数も少なく感じます。その点が心配です。
- ・ 子供が悩んでいる時はきちんと寄り添い話し合う、反抗期にも大きく構えコミュニケーションを取るようにしています。親も子供に対して素直になる。
- ・ スマホの普及により、子供と対立する機会が増えました。中学生までは禁止にしてもらいたい。
- ・ 今は昔のように自由がない。あれもこれも決められていて、先回りに用意され、子供がしたい事、欲しいものを考えられない。すべてが与えられすぎ。危ない事でも見守ってけがをすれば痛いってことを教えられる世の中になってほしい。
- ・ インターネットやゲームの使用時間が家庭によって違っているので、相手に合わせたり時間を決めるのが難しい。
- ・ 母子家庭のため、子供と過ごす時間が少ないですが、その日の出来事をお互いに話すようにしています。そうすることで、子供の変化に気付けるようにしています。
- ・ 仕事が忙しく、子供とゆっくり話す時間がほしいですね。厳しく叱ることが多くなってきてるようで心配です。
- ・ 中学生から持ち歩くのが当たり前になってきているスマートフォンの課題、問題点に学校でもさらに深く指導していただきたい。

中2 39件

- ・ 子供との会話を多く持ち様子を見る。がんばりを認めてほめる、励ます。
- ・ 部活動や習い事などで一緒に過ごす時間が少ない。男の子なので一緒に出掛けることもない。
- ・ いろいろな場面で親が口を出しすぎ！！
- ・ 先生たちも教育してほしい。
- ・ あまり学校の事等、話したがないので聞かないようにしているがそれで良いのか。男の子はわからない。
- ・ 母親に「子供は親に育てられる。」と言われました。子供に手がかからなくなってきて、この言葉が身にしみて…。でも我が子を見ていると決してまちがえた育て方はしていなかったと思っています。
- ・ 土日休みのない働いている親は子供の試合等観戦に行くことができない。
- ・ 他の親との子育てに対する考えの差。
- ・ 仕事に追われ子供との時間が充分にとれていないが、子供は理解し、生活してくれている。
- ・ 近くに祖父母がいるため大変力になる。
- ・ 地域の方々とのコミュニケーションが少なくなっている。
- ・ 子育てに対する悩みをどこに相談したらいいのかわからない。
- ・ 親が子育てする環境を整えることが必要だが、現在の政治方針は共働きを推進しているため家庭教育が低下している。
- ・ 親だけの力では本当の意味での成長はできないんだという親の無力さを感じる。
- ・ 子供の成績が伸びず悩んでいます。パーフェクトベビーシンドロームになっているかも？と不安。
- ・ 自力で問題を解決することが下手で、いつでも他人の力がないといけないようで、しっかりコミュニケーションをとれるようにしていけるようになってほしいと思う。

- ・ 習い事を始めましたが、習い事の練習が多く、無料の体験型や低料金の合宿等経験させたいが、始めた習い事を目標を持って休まず頑張らせたい。双方の葛藤。
- ・ 物があふれすぎ、与えすぎているのか、自ら考えて行動できなくしている。大人になるのに自立できるか不安です。
- ・ 私自身、まだまだ不安や戸惑いもあり、つい顔に出てしまい（涙）子供にも不安を与えたかな・・・と反省の日々です。
- ・ 自分の子がどういう子なのか分かっていない親が多い。
- ・ 親は子供達に自分の身は自分で守る事を強く教えていかなければならない。
- ・ 情報化社会の時代、テレビやゲーム以外でインターネットを利用する事が多い中、間違っただけで方向へ引き込まれたりしないかと不安になる事もあります。それと調べ事などインターネットですぐ調べられるのは便利ですが便利すぎて辞書離れにならないか不安になる事もあります。苦労しながら覚えると忘れなかったり、昔の勉強方法でも良い事は子供にも教えてあげたいと思います。
- ・ 生まれながらに授かった性格を大切にすること。
- ・ 過保護・過干渉が良くないと言われれば今度は放任になってしまう。丁度良い所で上手くバランスを取って子育てをしていきたいと思う毎日ですが、周囲との関わりもあるしなかなか難しい。子育ては親育て、つくづく感じます。
- ・ 近年、子育ての責任が家庭だけに重くのしかかっている様に思う。相談機関など以前より充実してきたがどこか他人事に感じる。
- ・ ネットが普及し過ぎていて親の管理には限界を感じています。ネチケットやリスクについて学校で教育してほしいです。学習に関してはもっと小テストを学校で増やして欲しいです。家庭でできれば良いのですが、反抗期でもありなかなか難しいのが現状です。
- ・ 自分が子供の頃に比べると目上の人に対する言葉使い、態度が全体的に悪くなってきていると感じる。
- ・ 良い家庭良い夫婦関係を築き保つ事が最も重要だと考えています。
- ・ 自分が子供の頃にして貰いたかった事を思い出し、自分の子にはしてあげたい。
- ・ 自分も仕事をしているので子供が休みの日や体調が悪くて家に居ても一緒に居られない。また疲れているので宿題を見てあげたり、あまり手をかけてあげられないので子供任せでいさせてしまっている。
- ・ 本当は兄弟が多い方が良かったが金銭的に厳しくて二人になってしまった。もう少し多ければ一人一人に目くじらを立てず、もっと大らかに育てられたのではないかと感じてしまう。
- ・ 自分の子供にしては子供たちは元気に健やかに（心身ともに）育っていると思っています。分からない事や不安な事もありますが、なるべく子供自身と顔を合わせて解決しようとしています（子供は嫌がりますが）。大切なのは親が「こうありたい」「こう考えている」という事を自分の意見としてははっきり分かり易く子供に伝える事だと考えています。
- ・ 家族で何でも話し合えるように、年頃になり口数も少なくなってきているので話し合える環境を作りたい。何を考え何を思っているのか知りたい。
- ・ 連れ去り事件や交通事故、事件に巻き込まれる報道を多く聞くので、とても怖いと感じています。いじめや自殺の件数も年々増えているので、まわりでちょっとした変化や悩みに気づいてあげられる環境があればいいなあと思うこの頃です。
- ・ 親だけでは子育てはできません。でも子供自身が小さい時から友達や先生、他の大人たちにとっても恵まれていた事に感謝しています。（厳しく、優しく）。
- ・ 親同士の付き合い方が子供に伝わりやすく、気を使っていることが多い。
- ・ 子供の将来どうなるのか、日本のシステム自体不安がある。親がどうにかして子供たちの未来を明るく出来るようにしなければいけないと痛感している。
- ・ 子供が、高校、中学とある程度子育てが終わりに近づいているが、兄弟でも教育の仕方は違うと思った。同じやり方でも育ち方や考え方は違った。それから、早くスマホやゲームは与えるべきではないと思った。ゲーム以外の遊び方を知らないと言われる。それらに子守をさせるべきではないと思った。
- ・ 部活動が多くて家族と一緒にいる時間が少ない。もっと多くいれれば良いと思う。

まとめ

昨今の家庭や学校を取り巻く環境は、ライフスタイルや価値観の多様化に伴う個々の家庭と地域社会とのつながりの希薄化、少子化の進展による児童生徒数の減少、学校の統廃合等大きく変容してきており、必ずしも子供にとって好ましい傾向とは言えない状況にあります。そして、それらの状況は東日本大震災により一層顕著になり加速化しています。

これらの状況は、近年よく耳にする「家庭教育力の低下」にも関係しているのではないかと、との考えのもと、今回の調査では県内の小学5年生の保護者と中学2年生の保護者を対象に、家庭教育の現状や保護者の意識を探ることで、子どもたちの健全育成に寄与することを目的として実施しました。

調査結果では、子どもを取り巻く環境は「良くない」と感じている人は「良い」と感じている人を上回っており、その理由として「物騒になった」「ネットによる有害情報・犯罪」「遊びの環境の悪化」等が多い結果となりました。特にインターネットに関する諸問題は、子育てにおける不安や悩みとしても半数以上が、また家庭の教育力低下の原因としても6割以上が回答しており、今日的な課題として改めて浮き彫りとなりました。

自身の子育てについては、悩みながらもなんとか子育てをやっているという答えが多く、善悪の判断やルールを守る等、社会人として必要な事については特に力を入れていることが分かりました。一方で「家事などの手伝い」「地域の行事への参加」など、従来、責任感や社会性を育むために必要と考えられてきた事については低い値にとどまる結果となっています。

また、今後力を入れたいことについては「将来の夢を叶えられるよう応援する」が小・中ともに多く、子供の将来に向けての成長を支援していくことを重要視している姿勢がうかがわれました。

調査結果から家庭教育環境の充実のためには、個々の家庭の問題としてだけでなく、その悩みや思いに応える新たなPTA活動の創造が求められていると感じます。そのためには組織内だけでなく、他組織や地域社会との連携も不可欠となるでしょう。

これらを踏まえ、以下、提言をまとめました。本報告書がPTA活動を通して子供たちの健全育成の一助となれば幸いです。

提言

- 1 インターネット社会の発展など、子供を取り巻く環境の変化に関心を持ちましょう。
- 2 手伝いや地域行事への参加など、家族や地域と関わる機会を促しましょう。
- 3 PTAは会員のニーズを把握し、参加しやすい事業の展開に努めましょう。
- 4 PTAは悩みを共有し学び合う場として多いに活用しましょう。
- 5 他のPTAや地域との交流を深め、連携・協力した事業の展開を試みましょう。

Ⅳ 資料

宮城の家庭教育に関する保護者の意識調査 (宮城県PTA連合会 健全育成委員会)

目的・趣旨

平成18年に改正された教育基本法第10条は「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする」と教育における保護者の役割を規定しています。

昨今、子供のインターネット利用に関する問題が顕著となっています。宮城県PTA連合会においても昨年度「子供のインターネット利用に関する保護者の意識調査」を実施し、また本会に関連する各種研修会においてもほとんどがこの件に関するものとなっています。いずれもその帰結として言われているのは、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせることにあり、つまりは、法のいうところの親が果たすべき「第一義的責任」にかかるものと理解することができます。

本アンケートは家庭を取り巻く環境の変化に伴い、家庭の教育力低下が指摘されている現状や、前述のインターネットメディア対策、父親の子育て参加、いじめ、といった現代的課題も踏まえ、宮城の家庭教育の状況を保護者の意識や実態から把握し、子供たちの健全育成の一助となることを目的として実施するものです。

以下の各問いにお答えください。(該当する番号を○で囲んでください)

問1 お子さんに対してあなたの続柄を教えてください。

1. 父親 2. 母親 3. 祖父母 4. その他 ()

問2 あなたの年齢を教えてください。

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

問3 お子さんの数を教えてください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上

問4-1 あなたは、現在の子供を取り巻く環境について、総合的に見てどのように感じますか？

1. 良い (⇒問4-2へ)
2. どちらかと言えば良い (⇒問4-2へ)
3. どちらかと言えば良くない (⇒問4-3へ)
4. 良くない (⇒問4-3へ)
5. わからない (⇒問5へ)

問4-2 問4-1において選択肢「1.良い」及び「2.どちらかと言えば良い」とお答えの方のみお答えください。

なぜそのように感じますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 学びや体験の機会・場がたくさんある
2. 経済的に豊かで生活が便利
3. 子供を取り巻く人たちとの関わりがある

4. 学校が子供に気を配り，教育してくれている
5. ネットの普及等で情報化が進み，視野・知識を拓けるのが容易
6. 子育て施設の充実等，環境整備が進み子育てしやすくなっている
7. 父親の子育て参加など，社会的な意識が高まっている
8. その他（具体的に_____）

問4-3 選択肢「3.どちらかと言えば良くない」及び「良くない」とお答えの方は，なぜそのように感じますか。

あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 小さいうちから受験勉強に追われる
2. 親が子供に接する時間が十分取れない
3. 物騒になり，子供の安全が脅かされている
4. 遊び場が制限され，遊びの環境が豊かでない
5. 近所・地域住民が子供に無関心
6. 成長の過程で多様な経験を積むことが難しい
7. 情報やモノが氾濫し，親や学校の価値観が伝わりにくい
8. 少子化の影響で，兄弟や友達が少ない
9. 経済情勢や少子高齢化など，将来への明るい希望が持てない
10. インターネットによる有害情報やネット犯罪の危機にさらされている
11. その他（具体的に_____）

問5 あなた自身の子育てについて，次のように思うことはありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 我慢しなければならないことがたくさんある
2. どうしたらよいか分からないことがたくさんある
3. 悩みながらも何とかやっている
4. 楽しく子育てしている
5. 生きがいをもって子育てができています
6. 子育てはもう二度としたくない
7. 厳しくし過ぎている
8. 甘やかし過ぎている

問6 あなた自身の子育てについて特に力を入れていることは何ですか。

問7 また，今後力を入れたいと思うことは何ですか。

それぞれ主なものの以下の選択肢から3つまでお答えください。

1. 悪いことをしたときは厳しく叱る
2. 良いことをしたときはしっかりとほめる
3. ルールや決まりの大切さを教え，守らせる
4. 「早寝早起き朝ごはん」など基本的な生活習慣を身に付けさせる
5. 子供の手本となる生き方や考え方を示す

6. なんでも家族でよく話し合う
7. 将来の夢を叶えられるよう応援し励ます
8. 年中行事や誕生日など、家族の行事を大切にす
9. 家庭学習をしっかりさせる
10. 家事や仕事などの手伝いをさせる
11. 一緒に遊ぶ・出かける等、家族とのコミュニケーション
12. 積極的に地域の行事に参加させる等、家庭以外でのコミュニケーション
13. その他
14. 特にな

問6回答欄 (選択肢の数字を記入)			
----------------------	--	--	--

※「13. その他」を選択した方は具体的に

()

問7回答欄 (選択肢の数字を記入)			
----------------------	--	--	--

※「13. その他」を選択した方は具体的に

()

問8-1 あなたは家庭での教育(しつけ等)について悩みや不安がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 非常にある (⇒問8-2へ)
2. 多少ある (⇒問8-2へ)
3. あまりない (⇒問9-1へ)
4. 全くない (⇒問9-1へ)

問8-2 問8-1において選択肢「1. 非常にある」「2. 多少ある」を選択した方のみお答えください。それはどのような悩みや不安ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 早寝早起きなどの生活習慣に関するこ
2. 子供の健康・体力に関するこ
3. 子供の友人関係に関するこ
4. 非行や反抗期に関するこ
5. しつけや教育方針に関するこ
6. 勉強や進学, 将来の進路に関するこ
7. いじめ, 引きこもり, 不登校に関するこ
8. 教育についての情報や相談に関するこ
9. 子供の性格や考え方, 人との接し方に関するこ
10. 子供とのふれあいや親子の信頼関係に関するこ
11. 配偶者や家族の協力に関するこ

12. テレビ・ゲーム・ネット等，メディアとの付き合い方に関すること
13. 学校や先生との関係に関すること
14. ただ何となく不安
15. その他（具体的に_____）

問8-3 悩みや不安をどのように解決していますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 配偶者など家族に相談する
2. 友人や知人に相談する
3. 自分の親や年配者など子育ての経験者に相談する
4. 学校の先生に相談する
5. インターネットの情報を参考する
6. 塾や習い事の先生に相談する
7. テレビやラジオの育児番組を参考にする
8. スクールカウンセラーや相談員に相談する
9. 病院や医師，カウンセラーに相談する
10. 育児書を参考にする
11. 自分だけで解決する
12. その他（具体的に_____）
13. 解決方法がわからない

問9-1 「家庭の教育力（しつけ等）が低下しているのではないか」との意見を，あなたはどのように思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 非常にそう思う（問9-2へ）
2. そう思うことがある（問9-2へ）
3. あまりそう思わない（⇒問10へ）
4. 全くそう思わない（⇒問10へ）

問9-2 問9-1において選択肢「1. 非常にそう思う」「2. そう思うことがある」とお答えの方のみお答えください。家庭の教育力低下の理由は何だとお考えですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. テレビ，ゲーム，インターネットなどの影響
2. 親に対する信頼感の低下
3. 親子がふれあい，一緒に行動する機会の不足
4. 子供が親以外の大人と触れ合う機会の不足
5. 過保護，甘やかし過ぎや過干渉な親の増加
6. しつけや教育に無関心な親の増加
7. しつけや教育に自信がない，やり方がわからない親の増加
8. しつけや教育に悩んだ時相談する相手や場の不足
9. 学校等教育機関にしつけ等を過度に依存する親の増加
10. 父親の存在感の低下

11. 共働きなど親の仕事の多忙化
12. 働く親の姿を知る機会の不足
13. 何となく
14. その他（具体的に_____）

問10 子供と一緒に過ごす時間は平均するとどれくらいですか。平日、休日ごとに○をつけてください。

- | | | | | | |
|----|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 平日 | 1. <u>ない</u> | 2. <u>1時間未満</u> | 3. <u>1～3時間</u> | 4. <u>3～5時間</u> | 5. <u>5時間以上</u> |
| 休日 | 1. <u>ない</u> | 2. <u>1時間未満</u> | 3. <u>1～3時間</u> | 4. <u>3～5時間</u> | 5. <u>5時間以上</u> |

問11 平日、1日の中で子供と一緒に過ごす時間に行っていることは何ですか。

問12 また、今後どのように過ごしたいと考えていますか。

それぞれの問いに対し、主なものを以下の選択肢から3つまでお答えください。

1. 食事をする
2. 家事をする
3. 出かける
4. ゲームをする
5. テレビ（ビデオやDVDを含む）の視聴
6. 勉強を見る
7. スポーツや散歩をする
8. 読書
9. 家族でだんらん団楽し話をする
10. ペットの世話
11. 家族共通の趣味
12. インターネット閲覧
13. その他

問10回答欄 (選択肢の数字を記入)			
------------------------------	--	--	--

※「13. その他」を選択した方は具体的に

(_____)

問11回答欄 (選択肢の数字を記入)			
------------------------------	--	--	--

※「13. その他」を選択した方は具体的に

(_____)

問13 その他、家庭教育、子育てについて日頃感じていることがありましたら自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

学びの窓口のご紹介

1 家庭教育支援チーム

「家庭教育支援チーム」は子育てサポーター^{*}や子育て支援者、民生委員等の地域人材によって構成され、仕事が忙しかったり孤立しがちな保護者に、身近な地域で同じ目線で寄り添いながら相談に乗ったり、親同士が交流しながら“子育ての新たな気づき”を得られるような「親の学びの場」を提供したりします。

宮城県内では、各市町で次の18の家庭教育支援チームが活動しています。

しろいし家庭教育支援チーム「ペアレントラン」	亘理町「ぶらんこ」
かくだ家庭教育支援チーム	山元町「夢ふうせん」
七ヶ宿子育て支援チーム	たいわ家庭教育支援サポートチーム
大河原町子育てサポーター「笑」	大郷町「ぼっかぼか」
柴田町子育てサポーター	大崎市鹿島台家庭教育支援チーム「まあま」
川崎町お手玉づくりの会	色麻町家庭教育支援チーム
川崎町「シェアリング」	涌谷町家庭教育支援チーム
名取市「ぼっぼはうす」	みやぎくりはらこどもねっとわーく
岩沼市家庭教育支援チーム	石巻市「スマイルエンジェル」

詳しくは、宮城県教育庁生涯学習課または各市町村教育委員会生涯学習担当課へお問い合わせください。

※子育てサポーター

県（各教育事務所・教育事務所地域事務所主管）や各市町村が実施する養成講座を受講した「地域の家庭教育支援者（ボランティア）」です。

子供の生活習慣やしつけに悩む保護者を地域ぐるみで応援できるよう、友人のような関係で相談に応じます。

相談窓口のご紹介

子供の福祉に関する諸問題（健康、虐待、非行、不登校、暴力等）について悩みを一人で抱え込まないで、**まず、お住まいの市町村役場の担当課へ**相談してみてください。相談内容に応じて相談窓口を紹介していただけます。

あとがき

「家庭教育」をテーマにするにあたり、自身の経験から真っ先に思い起こしたことを記し、あとがきにしたいと思います。

小学2年生の夏休みのことでした。祖父について毎夕、搾乳の手伝いをするのが私の日課でした。ある日作業が終わり、いつものように洗車用のブラシを使って長靴を洗っているときのことでした。長靴の甲や胴の部分を丁寧に洗っている私を見て、祖父は微笑みながら、

「ヤロ、靴くつつうのはな、底そこが一番いっばん汚れんだど！」

そう言うと片足をひょいと上げ、もう一方の膝頭に引っ掛けて長靴の底をゴシゴシと洗い始めたのでした…。

幼き日の、たった一度きりの出来事でしたが、40年近くの月日が流れた今でも、その光景は鮮やかに脳裏に焼き付いています。そしてこの言葉を通して祖父が伝えたいことは何だったのだろうか、と考えるようになりました。

「ヤロ、人ひとつうのはな、心こころが一番いっばん汚れんだど！」

靴の底も人の心も意識をしなければ見ることもない。その分汚れていることにも気づきにくい。しかし土の上を歩けば靴底が汚れるように、生きている限り人の心も汚れていくもの。汚れないのが大事なのではなく、汚れていることに気づき、その都度きれいに洗い流すことが大事なのだ…。

いつのころからかそう解釈するようになり、今日に至っています。

この祖父の、言わば「哲学」は、やがて子を持った私にとって、我が子に伝え繋げるべきものとなりました。十分に伝えられたのかどうかはわかりませんが、もしそうであれば、たとえ時代が変わっても、やがてそれは我が子からさらに次の世代へと繋げていってくれるものだと思います。

皆さんも自分の幼き頃を、もう一度思い出してみたいかかでしょうか。

最後に、今回の調査で貴重なご意見をお寄せ頂いた保護者の皆さま、アンケート用紙の配布や回収にご協力いただいた先生方、ご協力いただいたすべての皆さまに心から感謝申し上げます。願わくは本調査を基礎として、数年後に同様の調査を行っていただき、その変化を比較していただければ、さらにこの調査は生きてくるものと考えます。

宮城県 PTA 連合会 健全育成委員会
委員長 佐藤圭介



発行：宮城県PTA連合会

責任者 会長 高城 裕行

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町四丁目 5-1

宮城県青年会館内

電話 022 (295) 9581・9590

FAX 022 (256) 0425

E-mail miyagi-pta@h4.dion.ne.jp

URL <http://www.miyagi-pta.gr.jp/>



企画,編集：宮城県PTA連合会 健全育成委員会

委員長：佐藤圭介（加美）

副委員長：佐藤良行（蔵王） 門澤文恵（遠田）

委員：塚本浩之（亘理） 根來興宣（多賀城）

山口荘一郎（石巻） 亀井誠一（登米）

西脇朋枝（名取）

担当副会長：三浦 修（栗原） 佐藤新一（中学校長会）

担当事務局員：丹野妙子